

# 令和4年度 第12回政策推進会議報告

日 時 10月19日 13時30分～14時30分

場 所 WEB会議室

出席者 18人

## 1 尼崎市消防署等配置計画－消防力のさらなる強化をめざして－の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

消防局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(公営企業管理者) 構造改善を主目的とした取組ではないと思うが、財政運営方針では、新規拡充事業の立案はスクラップアンドビルドが基本ということになっている。この一連の取組による構造改善効果額は想定しているのか。
- ・(資産統括局長) 跡地の売却については現在、構造改善としては捉えていないが、全体で見ると売却による消防署所の資産管理が減になる部分と、人を増員する部分、どちらの側面もある。現時点では具体的な数字は押さえられていない。
- ・(総合政策局長) 現在この素案の策定と並行して、消防局とともに詰めている段階で、素案がまとまるまでには一定整理ができると考えている。
- ・(市長) 人員配置については、今後の定年延長を踏まえての体制充実ということを構想していると聞いている。ファシリティマネジメントを含む取組ではあるが、消防力が行革として削がれるのではなく、むしろ時代に合った形に再構築されるということ、しっかり打ち出していきたい。先ほど述べられた効果額などについてもまた詰まってきたら、情報共有をお願いする。

## 2 令和4年度全国学力・学習状況調査結果報告について

教育次長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 市民の皆様の関心が高いテーマだと思うので、議会の説明でどんな意見が出たかといったことも、今後は報告いただきたい。

## 3 その他

- 総合政策局長から、A-LAB Exhibition Vol. 35「目で目は見えぬけれども」の開催について説明。
- 総務局企画管理課長から、市長の事務引継ぎについて説明。
- 総務局企画管理課長から、尼崎市官民データ活用推進計画の改訂について説明。(以下、質疑等)
  - ・(市長) これについては次年度に切り替えが行われる予定で、次年度以降は例えばC I Oをお迎えするなど、体制も変えていかないといけないと思っている。また個別に打ち合わせをしたいと思うので、よろしく願います。
- 健康福祉局長から、「ミーツ・ザ・福祉2022」の開催について説明。
- こども青少年局長から、子どもの育ち支援センター「いくしあシンポジウム」の開催について説明。(以下、質疑等)

- ・(市長) 保健師や民間の支援者など、いろんな方たちと一緒に学べる有意義な機会かと思っていますので、お声掛けをよろしくお願ひしたい。

○こども青少年局長から、「オレンジリボンフェスタ2022 inあまがさき」の開催について説明。(以下、質疑等)

- ・(市長) オレンジリボンフェスタはどこにチラシを配架するのか。
- ・(こども青少年局長) 地域の学校などへの配架については話をしていたが、詳細な配架場所は現時点で聞いていない。当日はいくしああの職員がチラシの配付を行う予定で、保護司会などブースを出してくださるような団体の方々を通じた口コミも広くあると思っている。
- ・(市長) ひと咲きプラザをたくさんの方に知っていただく機会にもなると思うので、各局この宣伝活動にぜひご協力いただければと思う。また社会福祉協議会からチラシ配架の願ひとか、声かけの願ひがあるかもしれないが、ご協力のほどよろしくお願ひする。
  
- ・(経済環境局長) 3年ぶりに開催する農業祭について。今年度は親子連れにたくさん来てもらいたいということで、ミニ新幹線やトラクターに乗っていただく子ども向けのメニューを新たに用意している。また、「あまやさい」を知っていただく機会ということで、尼崎小田高校の生徒たちにボランティアで参加してもらおう予定である。日時は11月6日の日曜日、午前10時から橘公園で行うので、ぜひとも多くの方にご参加いただきたい。
  
- ・(総合政策局長) 市民まつりの報告と御礼について。10月2日に市民まつりを3年ぶりに開催した。当日、各局にはブース出展していただいたほか、周辺警備などいろいろな形で応援いただき、お礼申し上げたい。当日お越しいただいた方、従事いただいた方はご承知と思うが非常に天気良く、当日来場人数としては3万人と報告を受けている。前回は6万人ということだが、前回との違いはいわゆる模擬店舗の飲食系のブースが少ないということに加え、前回は夜間まで開催されていたこともあり、今回は3万人という結果になっている。来場人数は前回の3年前ほどではないが、いろいろな方から「3年ぶりに開催できてよかった」というお声もいただいている。本当に各局のご協力の賜物と思い、改めてお礼申し上げたい。
- ・(市長) コロナが終息に至っていなくても開催できるような形で準備しようということで、飲食なしなど、様々な条件の中であつたが、本当に無事に開催できてよかった。一方で久々の開催ということもあつてか、やはり局を越えて、どの局も主体的にこの市民まつりに参画するという意識はやや弱まってしまったとも感じている。例えば総務局が各局の若手や現場レベルの職員を集めて、子ども広場でブースを出し、所属を越えて普段からお付き合いのある市民団体とも連携しながら取り組むなど、いろいろなネットワークを通じて参画していただかと思うが、当然いろいろな企業などから寄付や協賛金をもらっており、こうした寄付をいただいた情報なども、もっとリアルタイムに共有できないと、他局の職員がその方に会ったときにお礼が言えない。これは前から言っているが改善されていないので、今後改善し、市民まつりも局間の連絡を風通しよくやるような形でまたやっけていけないと思つているので、良かった点と反省すべき点をしっかり踏まえて、来年度また、いい規模で開催できたらと思うのでよろしくお願ひしたい。(以 上)